

トップ > 国際 > 速報ニュース一覧 > 記事

## 【国際】

# 万博で震災を記憶に刻むイベント 傘に子どもの笑顔印刷

2010年5月4日 20時08分

【上海共同】中国・上海万博の会場で4日、四川大地震などの被災地で撮影された子どもの笑顔をプリントした傘100本を広げるイベントが行われた。大地震を経験した国は万博会場のパビリオンで被災地の映像を流すなど、震災を人々の記憶に刻もうとしている。

イベントは万博会場と東京・渋谷で同時実施。万博会場の公園で日中の100人の大学生らが傘を開いた後、小さな鐘を一斉に鳴らし、世界の人々の幸せを祈った。

子どもの笑顔はアートディレクター水谷孝次さん（59）が阪神大震災と四川大地震、インドネシア・スマトラ島沖地震の被災地で撮影。同様のイベントは愛知万博や北京五輪でも実施されており、水谷さんは「子どもの笑顔は未来の希望。笑顔を大切にすることが万博会場から世界に広がるとうれしい」と話した。



上海万博会場で広げられた、四川大地震などの被災地で撮影された子どもたちの笑顔をプリントした100本の傘。東京・渋谷と同時に行われた＝4日午後（共同）

トップ > 社会 > 紙面から一覧 > 記事

## 【社会】

# 渋谷彩る 笑顔の傘 路上アート『創造公園』

2010年5月5日 朝刊

東京・渋谷駅近くの大通りで、初の路上アートイベント「創造公園渋谷」が四日開かれ、約四十組のアーティストが個性的な作品を披露。通行人の視線を引きつけた。

長さ百十メートル、幅二十七メートルの公園通りを車両通行止めにして実施。映像作家丹下紘希さん（41）のオブジェ「空想釣り人」は、二隻の舟から釣り人が排水溝に釣り糸を垂らし、まるで渋谷の地下に大海原があるかのよう。

各国で被災した子どもの笑顔の写真を傘に印刷して一斉に開くパフォーマンスは、中国・上海万博会場と同時開催の企画。両会場で百本ずつ「笑顔の傘」が広がった＝写真、梅津忠之撮影。

